

南但馬地域環境形成基準

		山を生かす区域 (条例第9条第1項第2号に掲げる区域)	里の区域 (条例第9条第1項第3号に掲げる区域)	まちの区域 (条例第9条第1項第4号に掲げる区域)										
保全すべき森林又は緑地の面積	森林の保全	<p>1 森林の保全</p> <p>開発区域の面積に対して、原則として、次の表に掲げる割合以上の面積の森林が当該開発区域内に保全されること。ただし、良好な地域環境の形成に資すると認められる場合は、新たに造成することとなる森林の面積を含むことができる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開発区域の面積</th> <th>森林の面積の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.0ヘクタール以上</td> <td>50パーセント</td> </tr> <tr> <td>1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満</td> <td>40パーセント</td> </tr> <tr> <td>1.0ヘクタール未満</td> <td>30パーセント</td> </tr> </tbody> </table>	開発区域の面積	森林の面積の割合	5.0ヘクタール以上	50パーセント	1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満	40パーセント	1.0ヘクタール未満	30パーセント				
	開発区域の面積	森林の面積の割合												
5.0ヘクタール以上	50パーセント													
1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満	40パーセント													
1.0ヘクタール未満	30パーセント													
	緑地の確保		<p>1 緑地の確保</p> <p>次に掲げる緑地が開発区域内に確保されること。</p> <p>(1) 開発区域の面積（開発区域内に屋外運動競技場がある場合にあつては、開発区域の面積から屋外運動競技場の面積を控除することができる。）に対して、原則として、20パーセント以上の面積の緑地</p> <p>(2) 屋外運動競技場及び周辺からみて景観上支障がない箇所を除き、開発区域の境界に沿って、原則として、次の表に掲げる幅員以上の緑地（予定建築物等に応じた相当の緑量を有する樹木が適切に配置されるなど周辺からみて景観上有効な措置が講じられる場合又は予定建築物等の形態及び意匠が周辺の景観と調和すると認められる場合は、この限りでない。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開発区域の面積</th> <th>周辺緑地帯の幅員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.0ヘクタール以上</td> <td>5メートル</td> </tr> <tr> <td>1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満</td> <td>4メートル</td> </tr> <tr> <td>0.3ヘクタール以上 1.0ヘクタール未満</td> <td>3メートル</td> </tr> <tr> <td>0.3ヘクタール未満</td> <td>2メートル</td> </tr> </tbody> </table>	開発区域の面積	周辺緑地帯の幅員	5.0ヘクタール以上	5メートル	1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満	4メートル	0.3ヘクタール以上 1.0ヘクタール未満	3メートル	0.3ヘクタール未満	2メートル	<p>1 緑地の確保</p> <p>開発区域の面積（開発区域内に屋外運動競技場がある場合にあつては、開発区域の面積から屋外運動競技場の面積を控除することができる。）に対して、10パーセント以上の面積の緑地が当該開発区域内に確保されるよう努めること。ただし、開発区域の面積が0.3ヘクタール未満の場合で、樹木が適切な箇所に配置される場合は、この限りでない。</p>
開発区域の面積	周辺緑地帯の幅員													
5.0ヘクタール以上	5メートル													
1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満	4メートル													
0.3ヘクタール以上 1.0ヘクタール未満	3メートル													
0.3ヘクタール未満	2メートル													
優れた景観の構成要素の保全の方法	地形・植生の保全	<p>2 地形、森林等の保全</p> <p>開発区域内に次に掲げる箇所が含まれる場合にあつては、当該箇所の地形、森林等が保全されること。ただし、その改変が軽微で景観の形成に支障がない場合は、この限りでない。</p>	<p>2 樹木等の保全</p> <p>開発区域内に次に掲げる箇所が含まれる場合にあつては、当該箇所の樹木等が保全されること。ただし、その改変が軽微で景観の形成に支障がない場合は、この限りでない。</p>	<p>2 樹木等の保全</p> <p>開発区域内に次に掲げる箇所が含まれる場合にあつては、当該箇所の樹木等が保全されるよう努めること。ただし、その改変が軽微で景観の形成に支障がない場合は、この限りでない。</p>										
	貴重な植生の保全	<p>(1) 独立峰の頂部、平野部又は水面に対して突出した尾根筋の突端部等視覚的に明確な地形を有するもののうち、優れた景観の構成要素となっている箇所</p>	<p>(1) 良好な地域環境を形成している樹林</p>	<p>(1) 良好な地域環境を形成している樹林</p>										
	既存樹林地の保全	<p>(2) 連続した稜線のうち、周辺から展望した場合に当該山系の輪郭線を構成している箇所</p> <p>(3) 優れた樹容を有する樹木及び貴重な植生が存する箇所</p>	<p>(2) 優れた樹容を有する樹木及び貴重な植生が存する箇所</p> <p>(3) 地域に親しまれている樹木が存する箇所</p>	<p>(2) 優れた樹容を有する樹木及び貴重な植生が存する箇所</p> <p>(3) 地域に親しまれている樹木が存する箇所</p>										

		山を生かす区域 (条例第9条第1項第2号に掲げる区域)	里の区域 (条例第9条第1項第3号に掲げる区域)	まちな区域 (条例第9条第1項第4号に掲げる区域)
優れた景観の構成要素の保全の方法	森林等の維持管理	3 森林等の維持管理 開発区域内に保全された森林等は、適切に維持管理されること。	3 緑地等の維持管理 開発区域内に保全又は確保された緑地等は、適切に維持管理されること。	3 緑地等の維持管理 開発区域内に保全又は確保された緑地等は、適切に維持管理されるよう努めること。
森林又は緑地の配置の方法及び緑化の方法	森林と建築物	4 森林と建築物 開発区域内の森林と予定建築物等は、次に掲げるところによるものとする。 (1) 予定建築物等と調和した景観を形成するよう樹木が適切に配置されること。 (2) 大規模な予定建築物等にあつては、主要な道路、集落等からみて相当の緑量を有する樹木がその前面に配置されること。 (3) 宅地分譲に係る開発行為にあつては、建築後、森林景観と調和するよう宅地の規模及び形状が適切に計画されること。		
	建築物と緑地		4 建築物と緑地 開発区域内の緑地又は樹木と予定建築物等は、次に掲げるところによるものとする。 (1) 予定建築物等と調和した景観を形成するよう緑地又は樹木が適切に配置されること。 (2) 大規模な予定建築物等にあつては、主要な道路、集落等からみて相当の緑量を有する樹木がその前面に配置されること。 (3) 宅地分譲に係る開発行為にあつては、建築後、一定の緑地が宅地内に確保されるよう宅地の規模及び形状が適切に計画されること。	4 建築物と緑地 開発区域内の緑地又は樹木と予定建築物等は、次に掲げるところによるものとする。 (1) 予定建築物等と調和した景観を形成するよう緑地又は樹木の適切な配置に努めること。 (2) 宅地分譲に係る開発行為にあつては、建築後、一定の緑地が宅地内に確保されるよう宅地の規模及び形状の適切な計画に努めること。
	道路沿い及び河川沿いの植栽	5 道路沿い及び河川沿いの植栽 開発区域内の次に掲げる箇所には、原則として、景観の形成に有効な樹木が配置されること。 (1) 主要な道路の沿道 (2) 河川と開発区域との境界部	5 道路沿い及び河川沿いの植栽 開発区域内の次に掲げる箇所には、原則として、景観の形成に有効な樹木が配置されること。 (1) 主要な道路の沿道 (2) 河川と開発区域との境界部	5 道路沿い及び河川沿いの植栽 開発区域内の次に掲げる箇所には、景観の形成に有効な樹木が配置されるよう努めること。 (1) 主要な道路の沿道 (2) 河川と開発区域との境界部
	緑地・植栽の質	6 緑地・植栽の質 開発区域内に樹木等を植栽する場合は、原則として、地域に適合した多様な在来種が選定されること。	6 緑地・植栽の質 開発区域内に樹木等を植栽する場合は、原則として、地域に適合した多様な在来種が選定されること。	
	緑化の手法			
自然的環境と調和する建築物等の整備の方法	土地の造成	7 土地の造成 開発行為によって大規模な地形の改変が生じないよう、また、周辺の景観と調和するよう土地造成が適切に計画されること。	7 土地の造成 開発区域が優れた景観を形成している棚田等に隣接する場合にあつては、周辺の景観と調和するよう土地造成が適切に計画されること。	

		山を生かす区域 (条例第9条第1項第2号に掲げる区域)	里の区域 (条例第9条第1項第3号に掲げる区域)	まちな区域 (条例第9条第1項第4号に掲げる区域)
自然的環境と調和する建築物等の整備の方法	擁壁等の緑化修景	<p>8 擁壁等の緑化修景</p> <p>擁壁等の緑化修景は、次に掲げるところによるものとする。</p> <p>(1) 開発行為によって生じることとなる擁壁、排水施設等の工作物にあつては、原則として、周辺の景観と調和した仕上げ、樹木等による緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない工作物で景観の形成に支障がないものは、この限りでない。</p> <p>(2) 駐車場、屋外運動競技場等広い平面を生じる予定施設にあつては、その周囲等適切な箇所に樹木等が配置されること。</p>	<p>8 擁壁等の緑化修景</p> <p>擁壁等の緑化修景は、次に掲げるところによるものとする。</p> <p>(1) 開発行為によって生じることとなる擁壁、排水施設等の工作物にあつては、原則として、周辺の景観と調和した仕上げ、樹木等による緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない工作物で景観の形成に支障がないものは、この限りでない。</p> <p>(2) 駐車場、屋外運動競技場等広い平面を生じる予定施設にあつては、その周囲等適切な箇所に樹木等が配置されること。</p>	<p>6 擁壁等の緑化修景</p> <p>擁壁等の緑化修景は、次に掲げるところによるものとする。</p> <p>(1) 開発行為によって生じることとなる擁壁、排水施設等の工作物で、かつ、周辺から容易に望見し得るものにあつては、周辺の景観と調和した仕上げ、樹木等による緑化修景に努めること。</p> <p>(2) 駐車場、屋外運動競技場等広い平面を生じる予定施設にあつては、その周囲等適切な箇所に樹木等を配置するよう努めること。</p>
	法面の緑化	<p>9 法面の緑化</p> <p>開発行為によって生じることとなる法面のうち、その傾斜度が15度以上のものにあつては、原則として、適切な手法で樹木を配置した緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない法面で景観の形成に支障がない箇所は、この限りでない。</p>	<p>9 法面の緑化</p> <p>開発行為によって生じることとなる法面のうち、その傾斜度が15度以上のものにあつては、原則として、適切な手法で樹木を配置した緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない法面で景観の形成に支障がない箇所は、この限りでない。</p>	<p>7 法面の緑化</p> <p>開発行為によって生じることとなる法面のうち、その傾斜度が15度以上のもので、かつ、周辺から容易に望見し得るものにあつては、適切な方法で樹木を配置した緑化修景に努めること。</p>
	建築物等の形態、意匠等	<p>10 建築物等の形態</p> <p>予定建築物等にあつては、地形を生かして建築物を分棟することなどにより、主要な道路、集落等からみて開発区域周辺の森林から著しく突出しないようその配置、規模及び高さが適切に定められること。</p>	<p>10 建築物等の形態</p> <p>予定建築物等は、次に掲げるところによるものとする。</p> <p>(1) 大規模な予定建築物等にあつては、開発区域周辺の樹林等から著しく突出しないようその配置、規模及び高さが適切に定められること。</p> <p>(2) 開発区域内に一定の幅員に満たない道路に接する宅地が存する場合にあつては、当該道路の境界線から宅地側に一定の空地が確保されるよう予定建築物等の壁面の位置が定められること。</p>	<p>8 建築物等の形態</p> <p>開発区域内に一定の幅員に満たない道路に接する宅地が存する場合にあつては、当該道路の境界線から宅地側に一定の空地が確保されるよう予定建築物等の壁面の適切な配置に努めること。</p>

		高原の区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)	歴史的景観区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)		川の区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)												
保全すべき森林又は緑地の面積	森林の保全	<p>1 緑地の確保 開発区域の面積（開発区域内に屋外運動競技場がある場合にあつては、開発区域の面積から屋外運動競技場の面積を控除することができる。）に対して、原則として、30パーセント以上の面積の緑地が当該開発区域内に確保されること。</p>		<p>1 森林の保全又は緑地の確保 (1) 現況森林の区域における森林の保全 開発区域内に存在する現況森林の面積に対して、原則として、50パーセント以上の面積（良好な地域環境の形成に資すると認められる場合は、新たに造成することができる。）の森林が当該開発区域内に保全されること。ただし、歴史的資源の活用のための施設整備で景観上支障のない場合は、この限りでない。</p>	<p>(2) 森林以外の区域における緑地の確保 開発区域の面積（現況森林の面積を除く。また、開発区域内に屋外運動競技場がある場合にあつては、開発区域の面積から屋外運動競技場の面積を控除することができる。）に対して、原則として、10パーセント以上の面積の緑地が当該開発区域内に確保されること。ただし、歴史的資源の活用のための施設整備で景観上支障のない場合又は塀等により歴史的なまち並み景観が確保される場合は、この限りでない。</p>	<p>1 緑地の確保 次に掲げる緑地が開発区域内に確保されること。 (1) 開発区域の面積（開発区域内に屋外運動競技場がある場合にあつては、開発区域の面積から屋外運動競技場の面積を控除することができる。）に対して、原則として、20パーセント以上の面積の緑地 (2) 屋外運動競技場及び周辺からみて景観上支障がない箇所を除き、開発区域の境界に沿って、原則として、次の表に掲げる幅員以上の緑地（予定建築物等に応じた相当の緑量を有する樹木が適切に配置され、周辺からみて景観上有効な措置が講じられ、又は建築物等の形態及び意匠が周辺の景観と調和している場合は、この限りでない。）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>開発区域の面積</th> <th>周辺緑地帯の幅員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.0ヘクタール以上</td> <td>5メートル</td> </tr> <tr> <td>1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満</td> <td>4メートル</td> </tr> <tr> <td>0.3ヘクタール以上 1.0ヘクタール未満</td> <td>3メートル</td> </tr> <tr> <td>0.3ヘクタール未満</td> <td>2メートル</td> </tr> </tbody> </table>		開発区域の面積	周辺緑地帯の幅員	5.0ヘクタール以上	5メートル	1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満	4メートル	0.3ヘクタール以上 1.0ヘクタール未満	3メートル	0.3ヘクタール未満	2メートル
	開発区域の面積			周辺緑地帯の幅員													
5.0ヘクタール以上	5メートル																
1.0ヘクタール以上 5.0ヘクタール未満	4メートル																
0.3ヘクタール以上 1.0ヘクタール未満	3メートル																
0.3ヘクタール未満	2メートル																
優れた景観の構成要素の保全の方法	<p>地形・植生の保全 開発区域内に次に掲げる地形、樹木等が含まれる場合にあつては、それらが保全されること。ただし、その改変が軽微で景観の形成に支障がない場合は、この限りでない。 (1) 連続した稜線のうち、周辺から展望した場合に当該山系の輪郭線を構成している箇所 (2) 優れた樹容を有する樹木及び貴重な植生</p> <p>貴重な植生の保全</p> <p>既存樹林地の保全</p>	<p>2 地形、樹木等の保全 開発区域内に次に掲げる箇所が含まれる場合にあつては、それらが保全されること。ただし、その改変が軽微で景観の形成に支障がない場合は、この限りでない。 (1) 連続した稜線のうち、周辺から展望した場合に当該山系の輪郭線を構成している箇所 (2) 優れた樹容を有する樹木及び貴重な植生</p>	<p>2 樹木等の保全 開発区域内に次に掲げる箇所が含まれる場合にあつては、当該箇所の樹木等が保全されること。ただし、その改変が軽微で景観の形成に支障がない場合は、この限りでない。 (1) 良好な地域環境を形成している樹林 (2) 優れた樹容を有する樹木及び貴重な植生が存する箇所 (3) 地域に親しまれている樹木が存する箇所</p>	<p>2 樹木等の保全 開発区域内に次に掲げる箇所が含まれる場合にあつては、当該箇所の樹木等が保全されること。ただし、その改変が軽微で景観の形成に支障がない場合は、この限りでない。 (1) 良好な地域環境を形成している樹林及び河畔林 (2) 優れた樹容を有する樹木及び貴重な植生が存する箇所 (3) 地域に親しまれている樹木が存する箇所</p>													
森林又は緑地の配置の方法及び緑化の方法	<p>森林等の維持管理 開発区域内に保全及び確保された緑地等は、適切に維持管理されること。</p>	<p>3 緑地等の維持管理 開発区域内に保全及び確保された緑地等は、適切に維持管理されること。</p>	<p>3 森林等の維持管理 開発区域内に保全又は確保された森林等は、適切に維持管理されること。</p>	<p>3 緑地等の維持管理 開発区域内に保全又は確保された緑地等は、適切に維持管理されること。</p>													
森林又は緑地の配置の方法及び緑化の方法	<p>森林と建築物</p>	<p>4 森林又は緑地と建築物 (1) 現況森林の区域における森林と建築物 開発区域内の森林と予定建築物等は、次に掲げるところによ</p>	<p>(2) 森林以外の区域における建築物と緑地 開発区域内の緑地又は樹木と予定建築物等は、次に掲げると</p>														

		高原の区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)	歴史的景観区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)	川の区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)
森林又は 緑地の配 置の方法 及び緑化 の方法	建築物と 緑地	4 建築物と緑地 開発区域内の緑地又は樹木と予定建築物等は、次に掲げるところによるものとする。 (1) 予定建築物等と調和した景観を形成するよう緑地又は樹木が適切に配置されること。 (2) 宅地分譲に係る開発行為にあつては、建築後、一定の緑地が宅地内に確保されるよう宅地の規模及び形状が適切に計画されること。	るものとする。 ア 予定建築物等と調和した景観を形成するよう樹木が適切に配置されること。 イ 大規模な予定建築物等にあつては、主要な道路、集落等からみて相当の緑量を有する樹木がその前面に配置されること。 ウ 宅地分譲に係る開発行為にあつては、建築後、森林景観と調和するよう宅地の規模及び形状が適切に計画されること。	ころによるものとする。ただし、塀等によりまち並みの連続性が確保される場合は、この限りでない。 ア 予定建築物等と調和した景観を形成するよう緑地又は樹木が適切に配置されること。 イ 大規模な予定建築物等にあつては、道路、市街地等からみて相当の緑量を有する樹木がその前面に配置されること。 ウ 宅地分譲に係る開発行為は、建築後、一定の緑地が宅地内に確保されるよう宅地の規模及び形状が適切に計画されること。
	道路沿い 及び河川 沿いの植 栽	5 道路沿いの植栽 開発区域内のうち、主要な道路の沿道には、原則として、景観の形成に有効な樹木が配置されること。	5 道路沿いの植栽 開発区域内のうち、主要な道路の沿道には、原則として、景観の形成に有効な樹木が配置されること。	5 道路沿い及び河川沿いの植栽 開発区域内の次に掲げる箇所には、原則として、景観の形成に有効な樹木が配置されること。 (1) 主要な道路の沿道 (2) 河川と開発区域との境界部
	緑地・植栽 の質	6 緑地・植栽の質 開発区域内に樹木等を植栽する場合は、原則として、地域に適合した多様な在来種が選定されること。	6 緑地・植栽の質及び緑化の手法 開発区域内に樹木等を植栽する場合は、原則として、地域に適合した多様な在来種が選定されるとともに、地域の伝統的な緑化手法に配慮されること。	6 緑地・植栽の質 開発区域内に樹木等を植栽する場合は、原則として、地域に適合した多様な在来種が選定されること。
	緑化の 手法			
自然的環 境と調和 する建築 物等の整 備の方法	土地の造 成	7 土地の造成 開発行為によって大規模な地形の改変が生じないよう、また、周辺の景観と調和するよう土地造成が適切に計画されること。	7 土地の造成 開発行為によって大規模な地形の改変が生じないよう、また、周辺の景観と調和するよう土地造成が適切に計画されること。	
	擁壁等の 緑化修景	8 擁壁等の緑化修景 開発行為によって生じることとなる擁壁、排水施設等の工作物にあつては、原則として、周辺の景観と調和した仕上げ、樹木等による緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない工作物で景観の形成に支障がないものは、この限りでない。	8 擁壁等の緑化修景 擁壁等の緑化修景は、次に掲げるところによるものとする。 (1) 開発行為によって生じることとなる擁壁、排水施設等の工作物にあつては、原則として、周辺の景観と調和した仕上げ、樹木等による緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない工作物で景観の形成に支障がないものは、この限りでない。 (2) 駐車場、屋外運動競技場等広い平面を生じる予定施設にあつては、その周囲等適切な箇所に樹木等が配置されること。	7 擁壁等の緑化修景 擁壁等の緑化修景は、次に掲げるところによるものとする。 (1) 開発行為によって生じることとなる擁壁、排水施設等の工作物にあつては、原則として、周辺の景観と調和した仕上げ、樹木等による緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない工作物で景観の形成に支障がないものは、この限りでない。 (2) 駐車場、屋外運動競技場等広い平面を生じる予定施設にあつては、その周囲等適切な箇所に樹木等が配置されること。

		高原の区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)	歴史的景観区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)	川の区域 (条例第9条第2項に掲げる区域)
自然的環境と調和する建築物等の整備の方法	法面の緑化	<p>9 法面の緑化</p> <p>開発行為によって生じることとなる法面のうち、その傾斜度が15度以上のものにあつては、原則として、適切な手法で樹木を配置した緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない法面で景観の形成に支障がない箇所は、この限りでない。</p>	<p>9 法面の緑化</p> <p>開発行為によって生じることとなる法面のうち、その傾斜度が15度以上のものにあつては、原則として、適切な手法で樹木を配置した緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない法面で景観の形成に支障がない箇所は、この限りでない。</p>	<p>8 法面の緑化</p> <p>開発行為によって生じることとなる法面のうち、その傾斜度が15度以上のものにあつては、原則として、適切な手法で樹木を配置した緑化修景が行われること。ただし、周辺から望見し得ない法面で景観の形成に支障がない箇所は、この限りでない。</p>
	街区の形成			
	建築物等の形態、意匠等	<p>10 建築物等の形態</p> <p>予定建築物等にあつては、地形を生かして建築物を分棟することなどにより、主要な道路、集落等からみて山系の輪郭線を形成している稜線から著しく突出しないようその配置、規模及び高さが適切に定められること。</p>	<p>10 建築物等の形態、意匠等</p> <p>(1) 現況森林の区域における建築物等の形態、意匠等</p> <p>予定建築物等は、次に掲げるところによるものとする。</p> <p>ア 予定建築物等にあつては、地形を生かして建築物を分棟することなどにより、主要な道路、集落等からみて開発区域周辺の森林から著しく突出しないようその配置、規模及び高さが適切に定められるとともに、周辺の景観と調和するようその意匠、色彩等が適切に計画されること。</p> <p>イ 開発区域内に一定の幅員に満たない道路に接する宅地が存する場合にあつては、当該道路の境界線から宅地側に一定の空地が確保されるよう予定建築物等の壁面の位置が定められること。</p>	<p>(2) 森林以外の区域における建築物等の形態、意匠等</p> <p>予定建築物等は、次に掲げるところによるものとする。</p> <p>ア 予定建築物等にあつては、主要な道路、市街地等からみて開発区域周辺の建築物等から著しく突出しないようその配置、規模及び高さが適切に定められるとともに、周辺の景観と調和するようその意匠、色彩等が適切に計画されること。</p> <p>イ 開発区域内に一定の幅員に満たない道路に接する宅地が存する場合にあつては、当該道路の境界線から宅地側に一定の空地が確保されるよう予定建築物等の壁面の位置が定められること。</p>